

フォトニクス情報システム第179委員会活動状況報告

1. 委員会名	フォトニクス情報システム第179委員会 設置年月日：平成18年4月
2. 委員長名 (所属職名)	一岡 芳樹 (大阪大学・名誉教授) (期間：平成18年4月～平成23年3月31日)
3. 委員数	委員数：79名 (学界委員38名、産業界委員41名)
4. 委員会趣旨、 目的	本委員会では、光でなければできない超高速・大容量・超並列な情報処理・制御機能と、電子システムの柔軟な時系列情報処理・制御機能を融合し、統合された機能が発現できる新しいフォトニクス情報システムの開発を目指し、そのシステムアーキテクチャの創出と必要な情報基盤技術開発に関する調査研究を行う。そして、わが国のIT戦略の目標であるユビキタス社会の実現に必要なユビキタス・センサーネットワークの構築に資するため、フォトニクスを駆使した知的で高機能なセンサー技術、イメージング技術、情報可視化技術と、それらが情報通信技術と融合した新しいシステム化技術の開発を目指す。
5. 活動概要実績	<ul style="list-style-type: none"> ・概要：平成18年6月30日 設立総会、第1回委員会、第1回研究会を開催した。本委員会の設立趣旨・活動方針を審議、運営委員会、幹事会を設置し、これらを中心に活発に活動することを決議した。基本的に研究会を年4回開催し、最新の技術動向などを調査研究する。 ・実績：6月30日開催された第1回研究会の基調講演では、新時代の科学技術戦略、および、ユビキタス社会とIT新改革戦略が議論された。
6. 活動の成果	平成18年4月に委員会が設置され、79名の委員からなる産学協力研究委員会がスタートした。今後、幅広い分野の専門家の交流による専門領域の融合を図り、フォトニクス情報システムの研究開発に必要な情報基盤技術の開発に取り組む。
7. 今後の 活動方針	<p>平成18年度は下記の活動を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月、12月、平成19年3月に研究会を開催。 ・安全・安心・快適な社会の実現に必要なフォトニクス情報システムの開発に向け、新しいフォトニクスへの期待、フォトニクスの最新技術動向、フォトニクスの産業応用等に的を絞って発表と議論を行う。 ・18年度は委員の関心の高い各省庁の産学連携事業の取組みについて概要を把握する。第2回研究会では、日本学術振興会の産学協力研究委員会、第3回委員会では、新エネルギー・産業技術総合開発機構の活動状況の概要を報告して頂く。 ・フォトニクスに関わる人材育成、産学間の人材交流に関する活動 ・フォトニクス情報システムに関連した学術創成研究事業の課題応募の推薦を行う